

平成27年10月23日

各 位

株式会社クリュートメディカルシステムズ  
代表取締役 江口 哲也

業界初のヘッドマウント型視野計を発売いたします。

株式会社クリュートメディカルシステムズ（本社：東京都新宿区、代表取締役：江口哲也）は、ヘッドマウント型視野計「アイモ」を12月17日（木）より発売いたします。

当製品は、頭に装着する「ヘッドマウント型」を採用した持ち運び可能な視野計で、潜在患者が多いとされる緑内障の早期診断に貢献することを目指して開発されました。ヘッドマウント型の機器で両眼をすっぽりと覆った状態で検査することにより、従来の検査では必要とされた暗室環境が不要となりました。そのため、医療従事者や被検者は、基本的に場所を選ばずどこでも検査できるようになり、簡便性の向上や、被検者の負担の軽減が実現しました。さらに、左右両眼の測定に対応する独立した光学系を搭載したこと、および近赤外線カメラで左右の瞳孔を個別にモニター・自動補正する機構を備えたことにより、検査の所要時間の短縮や、固視ズレ（最も視力の良い部分である「中心窩」から外れた部分で、物を見ている状態）の解消による精度の高い検査の実現が期待できるようになりました。

「アイモ」の主な特徴は下記の通りです。

#### **特徴 1：業界初のヘッドマウント型によりコンパクト化を実現**

従来の視野測定器には暗室環境が必要でしたが、軽量、小型のヘッドマウントを採用したことにより暗室環境が不要となり、省スペース化と持ち運び易さを実現しました。

#### **特徴 2：両眼を、独立して同時に測定可能**

従来、緑内障の視野検査では片目ずつの測定が必要でしたが、左右に独立した光学系を搭載したことにより、片目を遮蔽することなく両眼同時かつ両眼視の状態（融像）で測定できるようになりました。これにより検査所要時間の短縮が期待できます。

### 特徴 3 : 左右の瞳孔を個別にモニター・自動補正

近赤外線カメラで左右の瞳孔を個別にモニターすることで、固視ズレが解消されました。これにより、従来の検査機器に比べ検査精度の向上が見込まれます。



「アイモ」製品イメージ

\* 製品のデザインや細部は実物と異なる場合があります。

類 別		機械器具 2 2 検眼用器具
名 称	一般的名称	自動視野計 (16918001)
	販 売 名	ヘッドマウント型視野計 アイモ
製 造 販 売 届 出 番 号		13B3X10168100001

本件に関するお問い合わせ先：  
 株式会社クリュートメディカルシステムズ  
 担当：安孫子  
 TEL: 03-5579-2998 E-mail: info@crewt.co.jp

以上